

に同じからざる如く必竟教育の段階たるに過ぎず。幼者には乳を與へ壯者には肉を與ふ。教育は漸化を尊ぶ。急激の變革を善しとせず。今に於て直ちに個人制を破壊せんとするが如きは是れ決して教育の段階を順次に進みたるものなりと云ふべからず。彼等の所信此の如しとせば彼等は決して社會主義者の罵るが如く一貫したる主義なきものにあらず。さればこそ彼等は一方に於ては個人的財産及び權利の現組織を變ずるを好まざると共に他方に於てはマンチエスター派の自由放任主義に反し國家に依りて社會の改革を遂げんとはするなり。されど我國家社會黨は彼等に比すれば更に一步を進みたり。我等は直ちに國家の淵源に溯り、土地資本は元來國家の所有にして共同生活の爲めに使用すべきものなり。私有權の設立は共同生活の理想を實現する便宜の爲に國家自ら其能動を制限したるに過ぎずとす。

「國家社會主義梗概」(四)に曰く絶對的の權利とは國家の權なり、國家の權利は何ものをも自己の威嚴に従はしむるとを得……土地所有權は便宜的の權利にして絶對的の權利には非ず。他の語を以て之を言へば土地所有權は國家が之を保證するまでは堅實のものたり得べし。國家若し其意思を變せば直ちに堅實の性質を失ふべきものなりと。是れ則ち此意なり。

是れ豈拔本塞源、直ちに個人主義、自由主義の正面に向つて挑戦するものに非ずや。我等は我國家社會黨を以て無主義なりと批評する人々の常識を疑はざるを得ず。

(二三) 實行的乎。哲學的乎、

事實を曰へば今や日本に於ける總ての社會主義者は深思熟慮を以て臨まざるべからざる危機を有せり。他なし彼等の運動をして自治、自制、一步を進めば一步を占め、二歩を進めば二歩を占め、事實の上より平民級の勢力を加ふる所謂實行的のものならしむべき乎。抑も亦語を強めて平民級の權利を説き、彼等をして政治の主人たらんと欲するの慾望に熱せしめんとする所謂哲學的のものならしむべき乎是なり。英國の勞働者は何處までも英國的なり。彼等は所謂名を取るよりも實を取るの方針を以て進みつ

しあり。彼等と雖も勿論マルクスの階級争闘説に感化せられたるの迹なきにあらず。されど彼等は依然として説よりも實利に重きを置くの人民なり。彼等の共同組合が着々として事實の上より労働者の勢力を加ふるの状は明かに之を證す。獨逸人は何處までも學究的なり。哲學的なり。今や社會民主黨の或者は平民の實益を圖るよりも寧ろ多くマルクスの舊教理を維持せんとする傾向なきに非ず。我等は果して獨逸人的なるを善しとすべき乎。抑も亦英人の如くなるを善しとすべき乎。是は今日に於て識者の預しめ決すべき問題なり。國家社會黨は固よりルイブランと共に社會の改革は政治の改革に伴はざるべからざるを知る。故に彼等は普通選舉を主張す。されど之と共に社會問題に直ちに政治問題にあらず。勿論哲學的問題にもあらず。要するに實利上の問題にして終年喧嘩して富豪を罵詈するも労働者の一人に牛乳の一杯だも多く飲ましむること能はざる教理の説法者は寧ろ黙して十人の購置組合を作るものに如かざるを知る。此期に於て國家社會主義者は極めて靜かにして、而も質實なる態度を取らんこ

とを欲す。現時に於て彼等の運動範圍が主として市政問題に限らるゝが如き傾向あるは蓋し之が爲めならん。夫れ人各思ふ所あり。各信する所あり。況んや世の中の舞臺は「シテ」もあり、「ワキ」もあり、泣上戸あり。笑上戸あり。差別の内に一致あり。一致の内に差別あり。必しも人を強ひて我と同じからしむるの要なしと雖も、而も之と共に我の人に同じからざるが故に之を悔ゆる所以を知らず。是れ蓋し國家社會黨の立脚地とする所以ならん歟。(三十九年四月三日)

個人を殺すは社會主義の理想に非ず。
個人と社會、一致と差別、自由と節制、其
相互の關係は社會主義者の最も潛心
すべき所なり。

時代を解せざるものは
時務を論ずべからず。
社会主義は現代の
大思潮なり。之を閑過するものは
時代を解するものに非ざるなり。

附

録

社會主義年表及び總論

一七八九年 佛國革命

佛國革命は人間最上の審判者を理性なりとし自由、平等友愛を實際上の警語とする。是れ社會主義の發生を促したる源泉なり。

一八〇八年 フーリエル、第四級民運動論を公にする。

一八一七年 オーエン 英國下院委員に對し貧民律の問題の爲めに社會共產主義の法案を提出す。

當時英國にては新たに勃興したる産業組織をして人類總體の爲めの善を目的とする高尚なる主義に服従せしめんとする傾向を生ず。オーエンは此傾向に乗じたるものなり。

オーエンの眼に映じたるものは産業革命の新氣運が人間に齎らし來りたる弊害な

り。彼れの社會改良案は革命的ならず。彼れは英國及び大陸政府が彼れの提出したる改革案を實行するに至らんことを熱心に希望せり。彼れは歴史的宗教を攻撃し、婚姻に關する古來の信仰を痛撃したり。

彼れは物品の製造に要したる労働の時間を紙票とし此紙票を交換するを以て從來の賣買制度に換へんと欲したり。

此年サン、シモン又社會共產主義の貧民救濟案を計畫す。

一八二一年 ジエームス、ミルの論に社會主義に類するものあり。

一八二四年 此年まで英國労働者は結社の權を有せざりき。

一八二五年 佛國サン、シモン歿す。

彼れは共產主義の社會を作り、之に依りて人民が貧困の苦痛を免れ幸福の地位に達すべきことを説きしもの一人なりき。彼れは第十八世紀の愛人主義を繼承したるものにして其思想より論ずればボルテール。ルツソー。アダム、スミス司徒

弟なり。彼れの思想は凡神論的なり。彼れは科學者に非ず。詩人なり。彼れの社會主義は寧ろ美術的製作なり。

一八三〇年 佛國に於ける七月革命。

社會主義者此革命を論じて曰く、是れ中等階級が政治の主人となりしものにして、此時より平民階級は中等階級より分たれ政權の外に驅逐せられたり。是より先き二階級の人民は封建主義及び保守主義に對して相並んで戦へり。然れども今や中等階級は治者となり、平民階級は革命黨となれり。

此頃よりサン、シモン派の社會主義は溫和に過ぎたるものとして之を謳歌するものを減じ、想像的、空想的、ユトピア的なるフーリエルの説が寧ろ歡迎せらるゝ傾向を生じたり。

一八三一年。パリ騒動。飢寒に苦しめる労働者は武器を取つて起り。彼等は「労働すべき事業を得て活くべき乎。否なれば戦つて死すべき乎」を題目として奮闘せり。

是れ労働者が自ら揚げたる社会革命の第一聲なり。

一八三二年 英國の議院改革。

英國の議院改革は中等階級をして政治の主人たらしめ労働者を區別したる階級として政治の外に驅逐したるものなれどもオトエンは此現象に注意せざりし。

一八三五年 佛人トックエヅエル其著「北米民主政治」に於て論じて曰く。

現社会に發達しつつある富豪は文明史上未曾有の專制的勢力にして社会の利益の爲めに最も恐るべき危險物なり。平等を基礎とする近世の社会組織は彼等の爲めに破壊せられて、遂に少數專制者を世界に出現せしむるに至るべし。

彼れは此時既に資本家專横の米國を豫想しつつありしなり。

一八三七年 チャーレス、フーリエル歿す。

一八三九年 ルイブラン労働組織論を出し、大に佛國の人心を動かす。

ルイブランは社会主義を近世的ならしめたる陳吳なり。彼れと共に社会主義は政治と實際の關係を有するに至れり。彼れは國家をして民主的組織たらしむるは則

ち國家をして社会的組織たらしむる第一歩なりと信せり。彼れは此の點に於て社会主義をして實行の傾向あらしめたるものなり。彼れは労働者の自由なる共動、兄弟分的同盟は社会改革の方便たるべきを信せり。されど彼れは之れと共に社会改革の大目的は先づ政治の改革を行ふに非れば遂げ得べからざることを知れり。彼れは立法院と行政官と軍隊とを味方とするに非れば社会の改革は必ず其妨害を蒙るべし。故に社会改革を成功せしむべき第一の條件は民主的基礎に國家を置くこと是なりと主張せり。彼れは此の如くにして先づ政府を民主的ならしめ而して此政府をして共同生産の爲めに社会的製作所を作らしめんと欲せり。國家は此目的の爲めに資金を出すべし。國家は又社会的製作所の爲めに其規律を作るべしとは彼れの論旨なり。

彼れは之と共に社会の改革は人心の改革と相待つに非れば成功すべからずと信せり。彼れは道德の改革を基礎とし、物質の改革を其上に築かんとせり。彼れは新

式の教育に依りて人心を改良し此新教育の効に依り労働者をして總て同等なる報酬に満足せしめんことを希望し、其新社會に入り來るもの、品性を吟味するを以て社會革命の第一歩とせり。

彼れの思想は基督教に近かりき。

此年より英國に免狀黨の運動始る。

英國の免狀黨は平民階級の不滿を代表したるものなり。彼等の目的が政治上の改革に在りしは勿論なれども其思想の根底に横はれるものは經濟的なりき。彼等は

「貧民の保護者」と題する其機關紙に於て

(一)労働者は國の富の全部を産出するものなり。

(二)然れども彼等は辛ふじて自己の生命を支へ得べきだけの富の小部分を分配せらるゝに止る。

(三)國の富の最大部分は労働者の労働に依りて生存する資本家の獨占する所なり。

と主張したりき。是れ彼等は既にマルクス。エンゲルスの言ふ所を事實の上にて理會しつゝありしなり。

一八四一年 マルクス。英國倫敦に於て獨逸労働者團體を組織す。(此團體後に平民友愛協會と稱す)。

一八四三年 カール、マルクス。パリに行く、社會主義に就て研究せんが爲めなり。フレデリク、エンゲルス。パリに於てカール、マルクスに會す。

一八四五年 カール、マルクス。パリより追放せられブルツセルに止まる。

一八四七年 マルクス。エンゲルスの立案に成れる共産的宣言、英國に於て發表せらる。是れ現代社會主義者の大部分が金科玉條とする所なり。

カール、マルクスは猶太人種なり。其専門たりし法律學を抛ち心を哲學と科學とに潜め歴史を説明するに獨特の見解を立てたり。

フレデリック、エンゲルスのカール、マルクスに於けるは猶ほメラントンのルイテルに於けるが如し。彼れはマルクスの直弟子なり。其同業者なり。彼れの論旨はマルクスに殊ならず、彼れとマルクスとは社會主義の歴史に輝ける複星なり。彼れ

の論旨左の如し。

- (一) 社會若し進化せば今の國家は單に無意義の形骸となり其實力を失ひ終には滅亡すべし。
- (二) 國家は富人階級が使用する掠奪の一方便に過ぎずして治者たる階級が經濟的奴隷の位置に労働者を排擠せんとする爲めの具なり。
- (三) 労働者若し之れに抵抗せんとせば、信仰、人種、國を論ぜず、世界の同階級たるもの總て一致すべし。則ち労働者の國際的勢力を以て富人の國家的勢力に對抗すべし。
- (四) 労働者若し社會全昧の名に依りて政治上の全權を得ば階級的政治は直ちに廢止せらるべし。
- (五) 古來の政治は人を治むるものなり。將來の政治は物と生産とを治むるものならざるべからず。
- (六) 但し斯の如き將來の社會に達するには社會進化の順序を履まざるべからず而して現時に在りては
- (七) 中央集權的組織に待たざるべからず。

此最後の二項は彼れの無政府黨ならざる所以なり。

一八四八年 佛國二月改革。ルイブランの社會主義實際に應用せらる。

ルイブランの主義は前に出づ。彼れは國家の作りたる社會的製作所に働く労働者の報酬は總て平等なるべしとの主義を提げて起てり。されど此時集まりたる労働者は單に革命の爲めに職業を失ひたるものに過ぎず。彼れの意思は固より貫徹せざりしかば彼れの計畫は失敗に歸し其計畫したる製造所は閉鎖せられ、労働者は

之を憤りて更に暴動を起したり。

マルクス。エンゲルス。ヨログチに行き「ノイエ、ライニシエ、サイツング」一名「民政の機關」を發行し中等階級の民主黨は其性質徹微にして社會革命に従事する能はざるものなることを痛論す。彼等が萬國の労働者一致せよと叫びたるは此時なり。英國は佛國革命に依りて人心の激動を生じ四月に至つて免狀黨の示威運動あり。

英國に於ては此年頃よりオーエン派の社會主義自然衰微の状態となり。モトライス。キングスレー。ルードロー等に依りて基督教社會主義者の運動なるもの起れり。

彼等は

- (一) 自由競争の弊害を認めてマンチエスター學派と奮闘し、
- (二) 正しき社會主義は基督教の主義を社會改革に適用したるものなりと論じ、
- (三) 労働者の組織的一致を唱道し、
- (四) 共同の資本を以て生産社會を作り、公平なる富の分配を行はんと欲し、

(五) 社會を結ぶべき眞の紐帯は唯倫理的的精神的原則なりと主張せり、

而して彼等は數年間活潑なる運動を爲したりき。

一八四九年 英國モリニング、クロニクル 「倫敦の勞働者及び倫敦の貧民」と題する論文を掲げ大に人心を動かす。

マルクス普國領より追はれバリに行く。(其後英國に行き死に至るまで倫敦に在り)。

一八五二年

此年頃より佛國に於てはブロードホン。ルイブラン等の勢力衰へ英國の基督教社會主義者も亦少しく鎮火の傾あり。殊に佛國はナポレオン第三世全盛の時にして人心自ら愛國的街國的の潮流に流れ社會主義は自然人の顧る所とならず。社會主義の花々しき運動は一轉して獨逸のものとなれり。ブロードホンは無政府主義にして「財産は盜賊なり」と云警語を發したるものなり。

一八五八年 ロバート、オーエン歿す。

獨逸に經濟大會なるもの起る。政治家と經濟學者の結合にして英國の「コブデン」俱樂部に似たるものなり。獨逸諸州間の關稅を撤し自由貿易主義を行はざるべからざることを論ず。是れ後日所謂講壇社會主義者若しくは國家社會主義者と云ふもの、濫觴なり。

一八五九年 佛埃戰爭。

獨逸の民主黨は此戰を以て以太利の獨立を助け獨逸の統一を妨害せんとする埃國を弱くするものなりと論じて之を賛成したれどもマルクスは之に抗論して非戰論を唱ふ。ラザールはマルクスに反對す。

マルクスとラザールとは獨逸に於ける近世的社會主義の泰山北斗にして其名は數ば併稱せらるれども二人の論旨は其國際的なる國民的なるに於て氷炭相容れず。是は近世社會主義を研究するもの、着眼せざるべからざる所なり。二人とも

(一) 總ての資本總ての生産的方法を一個人の手より國家に移さんとすること。
 (二) 現制度を根本的に破毀し財産の相繼を制限し労働者の專断に直接干渉を試み貸財運轉の方法を國家の手に移さんとすること。

に於ては一致すれどもマルクスは國際的にしてラザールは國民的なり。マルクスは國際的労働者の一致に依りて理想の共産的國家を實現せんと欲し、ラザールは先づ獨逸の國內に於て社會主義の實行を見んことを希望せり。ラザールは此點に於てマルクスの世界的なるに反して國民的なり。獨逸政府をして國家の盡力を以て生産社會を建てしめんと欲するものなり。而して其徒はマルクスの徒が何處までも奮闘的にして現代の國家と調和するを非とするに反し、或程度までは國家と調和し、資本家と協力し社會政策を立つべきことを主張す。

一八六三年

此年頃より獨逸の舊教地方に於て博士ドルリンガー。監督ケットラー。基督教社會主義を唱ふ。

監督ケットラーはラザールの感化を受たるものにしてラザールと同くマンチエスタ一派の自由主義を攻撃し基督教信者に依りて供給されたる資本を以て生産組合を作り教會をして之を監督せしむべしと主張す。彼等は現代の製造所的生活の弊害を痛歎し古來獨逸の美質たりし家族的生活を維持するの急務なるを唱へ、國家は老年に至り若しくは疾病に罹れる労働者に慰藉と事業とを與ふるの義務ありと論せり。博士ドルリンガーの説く所畧ぼ之に同じ。モウファンクも亦之に和して起れり。彼等は教會に依るよりも寧ろ多く國家に依りて社會主義を行はんとするの傾向あり。此徒の主張する所はマルクス派の痛罵を免れざりしかども彼等は其根本的思想に於て猶ほ社會主義の一派なり。彼等は

- (一) 労働者の状況を改革するは労働者に一任すべからず社會的害惡は必ず有力なる干渉を待ちて之を救濟せざるべからずとし。
- (二) 法律を以て労働者を保護し労働時間、労働者たる賃金、婦人小兒の健康は必ず法律を以て之を規定すべしと。
- (三) 労働者の産業組合を保護發達せしむべきこと。

(四)労働者の負擔する租税を軽減するべきこと。

(五)利益を制限するべきこと。

等を主張す。

一八六四年 ラザール歿す。

マルクスの盡力により國際的労働者會倫敦に於て組織せらる。

一八六五年 プロードホン歿す。

獨逸社會黨同盟普通選舉を主張す。

一八六六年 萬國労働者大會をゼチヤに開く。

普澳戰爭。リブクチヒト非戰論を唱へ軍國主義を攻撃す。

一八六七年

マルクス資本論第一巻出づ。

瑞西ラウサンスに開きたる労働者大會に於て非政府、非軍制、非宗教を主張する宣

言を發す。

アイセンナツヒに於て獨逸社會黨の大會あり。ラザールの繼承者シユワイゼル信任
缺乏を投票せらる。ペーベルは其不信任を投票したるもの、一人なり。

リブクチヒト。ペーベル共に北獨逸國會の議員となる。

リブクチヒト。ペーベルは共に國際的社會主義者にしてラザールの徒の國民的社
會主義と相容れざる者なり。彼等はラザールの徒に反し戰爭を否定し、如何なる
場合に於ても資本家及び資本家に依りて維持せらるゝ國家と調和することを否定し
其出で、議員たるは國家と共に政務を經營せんとするが爲めに非ず唯是を以て人
民煽動の機會に利用し、今の議會の全く笑ふべきものたることを世間に示さんと
するに過ぎずと主張せり。されど彼等と雖も外國の侵掠に對して全く無抵抗なれ
ど主張するものにはあらず。ペーベル嘗て論じて曰く、獨逸を攻撃する外國人は
社會民主黨の非戰論者たる故を以て彼等より援助せられ、若しくは彼等の中立を

贏ち得べしと豫想する勿れど。彼れと雖も他國の侵襲に對して絶對的従順を主張するものにあらざりき。

一八六八年、ヌレンベルグに於て獨逸社會主義者同盟の大會あり。國際主義を固執すべきことを主張す。

此年頃より獨逸の基督教社會主義者稍實行的の形を取る。

此年頃より英國に於て普通教育は政府の事業とすべきものなりとの議論勢力を得來る。

一八六九年 獨逸に於て社會民主黨の名起る。

一八七〇年 普佛戦争。獨逸の社會主義者國民的感情と衝突し非戰論を唱へ、兵士に負はするに殺人者の名を以てす。但し非戰論者は主としてリフクテヒト。ペーベルの徒に在り。二人は議會に在りて戰時國債の募集に投票することを拒む。ラザールの主義を信仰するものは之に反し政府の提案に賛成す。

一八七一年 パリに於て社會黨の騒動あり。マルクス。パリ社會黨に同情を表し、佛國內亂論を著はす。

獨逸帝國建設。ペーベルのみ帝國議會の議員たるを得たり。彼れはアルサス。ローレンの占領に反對したりき。

一八七二年 萬國勞働者大會をヘーグに開く。パクリニンの徒脱盟してマルクス派の勝利となる。

パクリニンは露國人にして無政府主義者の顯著なるものなり。彼れは拉丁諸國の社會主義者に大なる勢力を有し如何なる方法に依りても現代の權勢を破壊すべしと主張す。其論旨要するに左の如し。

- (一)人は唯自己の性に從ふの外、外界の如何なる制裁にも從ふべからず。
- (二)自然法は科學に依りて發明せられ、自然法の智識は一般の人民に普及す。自然法は天然の法則たるのみならず、又人間の法則なり人は唯此天然の法にして併せて自己の法たるものに從ふべきのみ。斯の如くせば政治組織と行政と立法との必要は直ちに亡び去るべし。
- (三)特權及び特權より生ずる位置は人の智と情とを殺すものなり。政治的にても、經濟的にても特權を

有する人物は智と情とを奪はれたるものなり。

(四)一言にして曰へば吾人は總ての立法、總ての權勢、特權、特許、官吏的、法律的なることに反對す。たとひ此等の事が普通選舉の結果に出でたるにもせよ吾人は猶ほ之れに反對す。吾人は信ずたとひ普通選舉制を採用するも、其結果は奴隸の位置に陥れる群衆の利益に反し治者、掠奪者たる最少數者の利益に變ずるものなりと。

(五)革命黨は其目的を集中せざるべからず。個人的の利害及び感情に従ふべからず。宗教と云ひ愛國心と云ひ、道徳といふが如きものを顧慮して其使命の遂行より眼を轉すべからず。唯如何なる方法にても現社會を破壊せよ。

(六)唯破壊せよ。將來人民の生活中より生ずべき社會組織に就て思ふこと勿れ。そは之を將來に一任せよ。彼れの前提は必しも危険なるものに非ず。一個人は自ら自己の法律たるべしとはエメルソンも亦之を主張し、スペンサーも亦之を主張し。或意義に於てはマンチエスター派の經濟學者も之を主張す。殊にスペンサーが倫理の進化を論じ政治、宗教、社會の如き外部の制裁は歲月を経ると共に人心の中に道義感情を生じ、人は遂に此内部の制裁(即ち道義感情)に依りて自己を支配するに至らん。かゝる時は政府を要せざるに至るべしと説き、非干渉論を唱へたるはパークソンの説と多く相去るも

のに非ず。且パークソニン及び其徒が

(一)個人間及び兩性間の同等。

(二)相續法の破壊。

(三)土地、田圃、勞働に要する機具は全社會の共有とし、唯勞働者に依りてのみ使用せらるべし。則ち農夫工人の社會に依りてのみ使用せらるべし。

(四)資本は人類の共有すべき相續權なり。何となれば是れ過去及び現在の人間が共同して成し遂げたるものなればなり。

(五)萬國の勞働者の堅固なる一致を作るべし。

と唱へたるは必しも他の社會主義者と一致し得べからざる點に非るも。更に進んで

(一)現社會に在りては謀叛は神權なり。

(二)如何なる暴力も現社會を破壊する爲めに神聖視せらるべきものなり。

と論ずるに至つては到底社會主義者の同意を得べきものに非ず。其遂に社會主義者と分離したるものは蓋し己むを得ざるなり。

獨逸に於てベール。リプクテヒト。獨逸帝を誹謗したる故を以て二年九ヶ月の禁

獄に處せらる。

教授シモール。ロツシエル。ヒルデブランド。ワグネル。ブレンター等アイセンナツヒに於て社會政策同盟大會を開く。

是れ則ち大學社會黨即ち講壇社會黨、若しくは國家社會黨と稱せらるゝものなり。此黨の事に關しては前文既に之を論じたれば畧す。要するに彼等は社會は其社員たる人民に對して深くして且避くべからざる責任を有すと信ずるものなり。彼等は此點に於て固より社會主義者なり。而も社會民主黨は甚だ彼等を嫌へり。社會民主黨の説に依れば彼等は

- (一)恐怖の爲めに半分の方策を用ふるものなり。
- (二)些少の讓歩と些少の慰撫とに依りて労働者を欺き其社會民主黨に來り投ずるを妨げんとするものなり。

而も其必しも然らざることは前文の既に論じたる所なり。

一八七二年 西班牙に於て社會黨の騒動あり。是れ主としてバクレーニンの煽動に基く

ものなり。

一八七五年 獨逸社會黨大會宣言。

此宣言はラザール派とマルクス派の一致を示すものなり。從來社會主義者は多く宗教に對して反感情を表示したりしを此宣言に於ては宗教は個人の事なりとし之を信ずるも信せざるも社會主義と交渉なきものなりと議決し、何人も其道理に基きたる要求に依りて労働の結果を享受すべし。勿論何人も労働せざるべからずてふ原則を明言し、之と共に人類社會現在の狀況に在りては國民的生活の重要なるものなることを認め、國家の補助を假りて産業組合を作るべしと論決せり。是れ國民主義と國際主義の手を携へたるものなり。マルクスは此說の中に持論と合ざりしものありしを以て其批評を公にしたり。

此年ピスマーク人に語りて曰く余にして若し時間たにあらば余は社會改革政策同盟に加はらんことを欲すと。

此年頃より英國の進化論的倫理學はスペンサー流よりダルウ井ン流に轉ずる傾向を生じ、國家の職務に關してはスペンサーの非干涉論を信せず、社會機關の活動を主張し寧ろ干涉主義を賛成するに至れり。此議論は又非戰論を非とせり。曰く、戰爭は止むべからず。何となれば國家機關は戰爭に依りて其能力を増加するものにして人類の進歩は種族を殊にする各人民の國民的摸型の競争に依りて生ずべければなりと。

一八七六年 獨逸に於てビスマルク刑法中に「刊行の文書を以て家族制、財産制、普通兵役義務、道徳、法律及び其他公の秩序を尊敬する念、愛國心を攻撃し之を危ふせんとするものは二年以内の禁錮に處すべし」と一項を加ふべし案を議會に提出す。是れ社會主義者を鎮壓せんが爲めなりき。されど此案は自由黨の反對に逢ふて否決せらる。

一八七八年 獨逸に於て治安警察條例出づ、即ち社會黨鎮壓法にして社會黨及び勞働者は此條例あるが爲めに協同一致の運動を爲すを得ざるに至る。合衆國に於て無政府黨の集會あり。革命派、溫和派と手を分つ。羅馬法王 回 狀を發し社會黨を責むるに虛無黨共產黨を攻撃すると同一の筆法を用ふ。

今年より露國の革命黨と政府との格闘始まる。
一八七九年 合衆國アルレニイ、シチイに於て無政府黨の集會あり。溫和派革命派再び分離す。

佛國マルセイユに於て勞働者國民大會あり。勞働黨を生ず。
此勞働黨はマルクスの説を固執し資本的紳士階級の政治的經濟的勢力を打破し總ての生産力を社會的にすることを主張す。
此頃より少年の自殺者都會の自殺者増加し、都會の死亡律、他に比すれば著るしく多きこと漸く世間の注意する所となる。

一八八〇年 瑞典ワイデンに於て獨逸社會民主黨大會あり。集會するもの八十人。警察官が此大會あるを探知したる前に早くも解散したり。

此大會に於ては獨逸帝國議會議員たる社會民主主義者を社會民主黨選舉委員とし來年の總選舉に於て其候補者の爲めに選舉競争に従事すべきことを議定し且從前は「如何なる合法的方法に依りても吾人は吾人の目的を達せざるべからず」と宣言したるを改め單に「如何なる方法に依りても吾人は吾人の目的を達せざるべからず」としたり。是はビスマルクの鎮壓令に對する復讐に外ならず。英國に於て社會主義を標榜する民主主義同盟起る。(一八八三年に至りて社會民主同盟と改稱す。)

ヘンリー、ジョルジの土地國有論單稅論。英國を動かす。

一八八一年 獨逸帝國議會に於て勅語に國家社會主義の色を帯ぶるを見る。

ビスマルクは社會民主主義の極端に走るを制限すると共に、時代が生じたる社會

上の害惡を醫すべき積極的方法なかるべからずと爲し、一八八四年及び一八九四年に至りて労働者脅迫保險法を提出し、國家の保護と助長に依りて共同組合を作り、是によりて人民の生活組織を新たにすべきことを主張す。是れ所謂ビスマルクの國家社會主義なり。

獨逸に於て労働者の産業組合合法的のものとなる。

虛無黨露帝アレキサンドル二世を殺す。

虛無黨は露國に取りては輸入的のものにして自然發生的のものに非ず。唯物論を基礎とし宗教を否認し、共産的社會組織を理想とす。

一八八三年 カール、マルクス歿す。

米國ピチスブルグに於て二十二個の都邑を代表する無政府黨二十八人の大會あり米國の労働者に告るの檄文を發す。

コペンハーゲンに於て社會主義者大會あり。

此頃か獨逸の宮廷牧師博士ストロイカ、基督教主義社會改革會なるものを作りしが、社會主義者等之を罵倒して組織的偽善の事業なりとす。此會人望なくして亡びたり。

一八八四年 英國に於てウイリヤム、モリス社會民主同盟を去りカール、マルクスの弟子アヴエリング、ペルホルド、バツクスと共に社會主義者同盟を作る。

一八八五年 トルストイの「暗黒の勢力」出づ。社會主義的傾向を有す。

此年大學社會主義者の一人たるシャイフレ社會民主黨を以て將來の希望なきものなりと論ず。彼れは社會主義を始終すべき精神は個人的競争的の資本を結合的統制的の資本とするに外ならずと論じたるものなり。

一八八六年 ベーベル秘密結社事件に關し、九ヶ月の禁錮に處せらる。

合衆國に枯草市場事件あり。勞働時間問題に關して警察官の干渉に起因したるものにして、群民集合の結果大騷擾を起し數人の警察官を殺し、之が爲めに無政府黨員

の拘引及び死刑となる。

トルストイ「イワンの馬鹿」を著はす。社會主義的傾向ありと稱せらる。

一八八七年 「十九世紀雜誌」に露國の無政府主義者クロバトキンの所論を掲ぐ。瑞西に於て社會黨大會あり。

一八八八年 英國に於てベラミイの「ルツキング、バツクホード」出づ。社會主義者の理想を畫きしものなり。

一八九〇年 獨逸議會治安警察法を否決す。所謂社會黨鎮壓令は此に至つて其施行を止む。

獨逸民主黨の大會に於て伯林の青年社會主義者は其黨の議會代表者が次第に調和的となり、昔の非調和的精神を失ひたるを攻撃す。ベーベルも亦彼等の譏笑を免れずあり。

此年より以來獨逸の社會民主黨は次第に非調和的傾向を減じ其運動は英國の産業

組合の如く平靜なるものとなり、教會を攻撃するの聲を息め次第に獨逸の國家を
自己の國家として認識するが如き態度を取に至れり。獨逸社會黨の調子は常に其
政府の之れに對する寛嚴の處置に依りて變するもの、如し。是れ政治家の注意を
要する點なり。

此年トルストイの「クローイツェル、ソナタ」出づ、婚姻は精神的同情の存立する間のみ
人類永續の方法として可認すべきものなり。否なれば、眞の道德を破毀するものな
りとの意を寓す。ペーベル等の主張に似たるものなり。

獨逸に於て基督教主義社會改革會の後身たる社會君主同盟成る。其不人望たること
依然たり。

一八九一年 法王の回狀に社會主義の色を帯ぶ。

獨逸社會民主黨エルファルトに會す。ウエルナー及び其同志は極端にして非調和的
なる議論を主張し、ペーベル等の舉動を攻撃し、彼等の議會に出席するのを止めし

めんと欲して容れられず、ウオルマー一派の溫和派を放逐せんとして成らず。遂に脱
盟して獨立社會黨なるものを作る。

ウオルマーはペーベルと均しく獨逸社會民主黨の領袖なり。彼の主張する所を察
すれば獨逸社會民主黨と雖も必ずしも非調和的の分子のみならざるを知るべし。
ウオルマーの論旨左の如し。

- (一) 社會主義者の理想を完全に實現すること、現在直接の問題とを區別して思慮せざるべからず。
 - (二) 社會の改革はペーベル等の主張するが如く一時に來るものに非ず。其進化は順を逐はざるべからず。
 - (三) 労働者の繁昌と自由とを進歩せしめんが爲めに現在の秩序の下に在りて政府と協同すべし。
- 彼れはロツベルタスと共に社會主義は預言にして時事問題に非ず。社會主義はマ
ルクスの言ふが如く來るべき社會進化の階段たるべしと雖も而も其實行の期は遠
遠なり。故に今は唯變遷時代の醫療方法に依り、歩一步、理想に近づくべきのみ
と主張するものなり。彼れは此故に獨逸政府の軍事及び外交政略を賛成し、三
國同盟を以て外國の攻撃に對し獨逸の安全を維持するものなりとし、ペーベルの

有する宗教及び家族に關する極端なる意見は直ちに社會民主主義と同一なるものなりとするを否認せり。かゝる意見を有するものが獨逸社會民主黨の一人にして之を同黨より放逐せんとする計畫の失敗に歸し、却て極端派のウエルナー等が脱盟したるを見れば、當日に於ける獨逸社會民主黨の趨勢蓋し察すべきものあり。

一八九三年 英國に於て獨立労働黨組織せらる。

一八九四年 佛國大統領カルノー。リオンに於て伊太利人の爲めに殺さる。

英國に於て社會主義の新聞記者トーマス、ブラットホルド「樂しき英國」を著はす。エンゲルス。マルクスの資本論未巻を公にす。社會民主黨の中には其説く所に不満のものあり。イト、ミルンズインはマルクスを抛つは社會主義を抛つに非ずと論ず。白耳義に於て普通選挙の結果、社會黨大に勢力を張る。和蘭に於て社會主義同盟解散せらる。

一八九五年 エンゲルス歿す。

リブク子ヒト 皇帝誹謗の罪に依り四ヶ月の禁錮に處せらる。

一八九六年 佛國リオンに於て労働者大會あり。

- (一) 平民級の政治上に権力を得ることに依りて資本制度を亡ぼすべきこと。
- (二) 資本制の財産を社會的の財産に變ずべきこと。
- (三) 萬國労働者の一致を宣告す。

一八九八年 米國無政府黨放逐條令を作る。

羅馬に於て國際的集會あり。無政府黨壓抑の手段を講ず。

一八九九年 獨逸議會産業組合の合同を禁じ特に社會主義者の結合社會民主黨の國民的結合を禁ずるの法律を廢止す。

一九〇〇年 以太利王ヒエンベルト殺さる。

リブク子ヒト歿す。

一九〇一年 法王基督教民主主義に關する回狀を出す。無政府主義者米國大統領マ

ツキンレーを殺す。

一九〇二年 獨逸に於て社會民主黨殺律廢止に賛成す。

一九〇三年 佛國社會主義者の内に現在の狀況の下に政府と事業を分たんとする臨機應變黨は社會主義に非すと主張するものあり。社會黨分れて政府社會黨、革命社會黨となる。

一九〇四年 英國の無職業者増加して四萬乃至五萬人に達せしを以て地方局長内務大臣と協議し無職業者の狀態を調査すべき合同委員を設く。

佛國社會黨の一部分れて急進社會黨を作る。

萬國社會黨の大會を、アムステルダムに開く。
之を要するに第二十世紀の社會主義者は共産的傾向漸く減じ主として意を大工場、土地、大なる生産の材料及び手段を國有若しくは市有とせんとするに注ぐ者の如し。即ち國家社會主義と社會主義とは次第に接近し、社會主義者の多數は破壊

的作用よりも寧ろ建設的作用に傾きつゝあるが如し

(三十九年五月三日)

著者猶ほ社會主義の研究中に在り。未だ獨り自らは是とする能はず。大方君子の示教を待つ。

社會主義管見(終)

明治三十九年五月廿五日印刷
明治三十九年六月五日發行

社會主義管見

金拾錢

著者 山路彌吉

發行者 東京市京橋區五郎兵衛町廿二番地 金尾種次郎

印刷者 東京市京橋區日吉町四番地 渡邊爲藏

印刷所 東京市京橋區日吉町四番地 民友社



發賣元 東京市京橋區五郎兵衛町 金尾文淵堂

文淵堂圖書發賣元

東京市神田區表神保町	東京堂書店
東京市神田區裏神保町	上田屋書店
東京市日本橋區吳服町	北隆館書店
東京市京橋區尾張町二丁目	東海堂書店
東京市京橋區中橋廣小路	前川文榮閣
名古屋市宮町一丁目	星野文星堂
京都市烏丸通佛光寺東入	東枝律書房
大阪市東區南渡邊町	杉本書店
久留米市米屋町	菊竹金文堂

明治三十九年四月改正

東京 金尾文淵堂書店

藏版圖書一覽

宗 教 書 類

網島梁川 病 間 錄 (三版) 金壹拾圓 小包料拾錢

中村春雨 新 約 物 語 (再版) 金壹拾圓 小包料拾錢

同 舊 約 物 語 (近刊) 金壹拾圓 小包料拾錢

中村春雨 解 畫 松井昇 畫 解 キリス ト 物 語 (新刊) 金拾二錢 郵稅二錢

雜 書 類

五十嵐力 兒 童 の 研 究 (新刊) 金壹拾圓 小包料拾錢

山路愛山 社 會 主 義 管 見 (新刊) 金三十錢 郵稅不要

子規自筆 俳 人 芭 蕉 (木版) 金七十五錢 郵稅不要

小 說 書 類							
同	同	同	同	中村春雨	同	同	菊地幽芳
炬	犯	雛	無	密	秘	七	妙
	さぬ		花	航	中	日	な
	罪	鳩	果	婦	秘	間	男
刊新	刊近	切賣	版十	刊新	刊近	切賣	冊三
			郵金七十錢	郵金七十錢			各金六十錢
			郵稅八十錢	郵稅八十錢			郵稅八十錢

小 說 書 類							
同	同	同	同	須藤南翠	柳川春葉	大倉桃郎	佐野天聲
火	良	新	間	緣	琵琶	露	喜
の	人	曙	一	の	の	の	劇
柱	の	光	髮	糸	歌	曲	草
版三	冊三	刊近	刊新	刊新	版四	刊新	刊近
金參拾五錢	各三十五錢		郵金七十五錢	郵金六十錢	郵金六十錢	郵金六十錢	郵金七十錢
郵稅六錢	郵稅各六錢		郵稅八錢	郵稅八錢	郵稅八錢	郵稅八錢	郵稅八錢

詩文畫集類

薄田泣菫 白 羊 宮(新刊) 金壹圓 小包料拾錢

同 暮 笛 集(三版) 金六十錢 郵稅六十錢

同 白 玉 姬(新刊) 金八十錢 郵稅八十錢

同 行 春(切品)

與謝野鐵幹 む ら さ き(切品)

同 與謝野鐵幹 昌子 毒 艸(切品)

與謝野昌子 み だ れ 髮(切品)

同 小 扇(四版) 金二十五錢 郵稅四錢

詩文畫集類

與謝野美昌子 戀 じ ろ も(三版) 金四十錢 郵稅四錢

野口米次郎 劍 と 戀 の 日 本(切品)

河井醉茗 塔 影(新刊) 金四十五錢 郵稅六錢

鳥居君子 上 總 の や ど り(新刊) 金二十錢 郵稅四錢

卅八年度 白馬會紀念畫集(新刊) 金九十錢 郵稅不要

小林萬吾 風 景 水 彩 畫 帖(新刊) 金五十錢 郵稅不要

月 刊 書 類

島村抱月主幹

早稻田文學

每月一回一日
郵金一錢五厘

尾上新兵衛主幹
鏑木清方主幹

お 御 世 界

每月一回三日
一冊五錢郵稅五厘

丸山晚霞主幹

水彩畫講義錄

每月一回十五日
會費一ヶ月六十錢

早稻田文學

編輯所 東京牛込區藥王寺前町廿番地
早稻田文學社
文藝協會 東京牛込區中町三十五番地
文藝協會事務所
○每月一回一日發行一冊廿錢郵稅一錢半
○一年前金二圓四十錢(郵稅不要)

一本誌は元坪内逍遙氏主幹の下に七年間文壇の重鎮たりしもの、一旦休刊の後明治三十九年一月新なる希望と抱負とを以て再興せられたるものなり。
一本誌は文學、美術、演藝、宗教、哲學、史傳、風俗、各方面の評論及び小説、詩歌、脚本等の創作、翻譯を文壇の新舊諸派にわたつて、選抜採録すると共に、毎號卷頭には數十頁の長論説若しくは創作翻譯等の完結せるものを載せ、是而已にても優に一冊の著書たるに足るの面目を具へしむ。
一本誌の彙報欄は文藝教育諸方面の現状を彙集し評拆して精博公平穩健を旨とし文壇の趨勢をして一眸の間に去來せしむ、是れ本誌の壇場なり。
一本誌現在の主幹者は島村抱月氏なり。
一本誌は文藝協會と聯合し之が機關として文藝の實際方面に活動する外、採録する所の文章には何等の偏したる標準をも挾むことなし。

發兌元

東京市京橋區五郎兵衛町二十二番地

金尾文洲堂

山 路 愛 山 主 筆
獨 立 評 論

內 容 概 概

政治、文學、宗教、社會主義、經濟、其他現代の
文明思潮を通じて吾人が眼前に迫り來れる
百般の事相に對し、最も熱心に、精透なる批評
を試るものは本誌也。
而して小説大盜通信は、支那内部の生活状態
より、東亞の全局に亘れる問題を細密に研究
せるもの、今や正に佳境に入りつゝあり、

毎月一回三日發行、壹部定價金拾錢。半年分五十五錢。内地郵
税なし。
但外國は別に郵税四錢を要す。

東京府下、中澁谷村九百二番地

發行所

獨 立 評 論 社



